

令和4年度「びわ湖の日」の取組について

1 これまでの「びわ湖の日」の取組状況について

「びわ湖の日」は、7月1日の前後1週間に県内全域で10万人以上が環境美化活動を行うなど、琵琶湖への思いをみんなで共有し、環境保全に取り組む象徴的な日となっている。

平成23年の「びわ湖の日」30周年を契機に、「琵琶湖をきれいにしよう」に加えて、「豊かな琵琶湖を取り戻そう」、「もっと琵琶湖に関わろう」の3つを展開の柱とし、企業、大学や民間団体等との多様な連携のもと、「びわ湖の日」の活動を推進してきた。

7月1日「びわ湖の日」を起点に概ね8月11日「山の日」までを琵琶湖に関わる重点期間とし、琵琶湖に関わる取組や活動である「びわ活」の発信を行っている。

【主な取組】

琵琶湖をきれいにしよう

- ▶ びわ湖を美しくする運動

豊かな琵琶湖を取り戻そう

- ▶ 外来生物駆除の取組

琵琶湖にもっと関わろう

- ▶ 「広める」:琵琶湖の価値やびわ湖の日の意義を発信
- ▶ 「食べる」:身近なことから琵琶湖に関心をもつ
- ▶ 「学ぶ」:琵琶湖や暮らしとの関わり学ぶ

2 令和3年度「びわ湖の日」40周年の取組について

令和3年度は「びわ湖の日」40周年であったことから、これまでの取組を振り返るとともに、現在を見つめなおし、これからを考えて行動するきっかけづくりを推進し、自然の多様な価値やそれらを守る取組の重要性やつながりを考える機運を高めることができた。一方で、若年層の「びわ湖の日」認知度・環境保全行動実施率が低いこと、県外の「びわ湖の日」認知度が低いことが課題となっている。

【主な取組】

(1) 「びわ湖の日」40周年記念シンポジウムの開催

日時：令和3年7月11日 13:00～16:00 場所：琵琶湖博物館

内容：基調講演（ココリコ 田中直樹氏、気象予報士 片平敦氏）、活動事例報告、知事対談

参加者：当日来場者 37名 当日 YouTube 視聴 395名

(2) トーク生配信「知事と！西川大使と！「びわ湖」のこと考えてみ～ひん？」

日時：令和3年7月1日 10:45～11:15

出演：知事、西川滋賀ふるさと観光大使

内容：「びわ湖を美しくする運動」をはじめ、滋賀・びわ湖についてのトーク

参加者：当日 YouTube 視聴 756名

(3) ワークショップ（ミニセミナー）・ブース出展

- ・ 県内商業施設、学校等6カ所で実施

(4) 環境保全啓発パンフレットの制作（16万5千部発行）

- ・ 県内全小中学校（約13.7万人）、図書館、高等学校、大学等に配布

(5) 多様なメディアによる普及啓発

- ・ 環境保全啓発CMを制作、びわ湖放送において発信（全90回）
- ・ Instagramにおいて広告を発信（広告表示回数120万回）

(6) 「びわ湖との約束」 絵手紙募集・展示

- ・ 募集期間：令和3年7月1日～11月30日 応募総数：394通
- ・ 県内3カ所の商業施設で展示

3 令和4年度「びわ湖の日」の取組について

今年度は、「びわ湖の日」の認知度や環境保全行動実施率が他の世代に比べて低い、10代～30代の若年層を主な対象に、県内外に、「びわ湖の日」や「びわ活」に関する情報を発信するとともに、「びわ湖の日」環境イベント等を通じて、琵琶湖の多様な価値や様々な関わり方を発信していく。

【主な取組】

(1) びわ湖を美しくする運動

毎年、7月1日前後に県内全域で実施される、湖岸や河川、道路等の清掃活動で、10万人以上が参加する取組（県内市町、自治会、環境団体などが参加）

- 7/1 県主催・共催の環境美化活動（7カ所）参加者：約2,300人 ゴミ回収量：約1,190kg（速報値）

(2) 「びわ湖の日」PR動画作成

県内外の若年層を対象に、琵琶湖や滋賀の自然と関わるきっかけにつながるPR動画を作成し、6月21日より、YouTubeでの広告配信（300万回）や広報を開始。MLGsWEBとも連携を図り、MLGsの目標達成を目指す

動画には本編と5つのカテゴリがあり、滋賀県広報課 YouTubeチャンネルでの総再生回数は約5万5千回（7月22日時点）



(3) 「びわ湖の日」環境イベント

「びわ湖の日」や環境、MLGsについて考える一般参加型イベントを実施

日時：6月25日（土）、26日（日）11:30～15:00

場所：ブランチ大津京 ブランチさんかく広場（大津市）

参加者：約3,000人

内容：

- 滋賀県立石山高校、滋賀短期大学附属高校 吹奏楽ステージ（25・26日）
- 環境やびわ湖に関する〇×クイズ大会（25・26日）
- MLGs 広報大使 伊藤みきさんステージ（25日）
環境問題への思い、「MLGs 体操」の実演とレクチャーを実施
- よしもとSDGsアンバサダーの「祇園」ステージ（26日）
SDGsにちなんだ漫才の披露と環境についてのトーク

- 国際ボランティア学生協会 IVUSA による環境活動発表（25・26日）
- 環境やびわ湖に関するクイズラリー（25・26日）

（4）令和5年度の「びわ湖の日」のポスターデザイン募集

びわこビクターズビューロー主催の「しがのフォトコン!!2022」に「びわ湖の日賞」を創設し、琵琶湖と人との関わりをテーマにした作品を次年度の「びわ湖の日」のポスターとして採用
募集期間：5月30日～令和5年2月14日

（5）「びわ湖の日」パネル展示

県内外の商業施設等で、環境保全、食や農、観光、暮らしなど、様々な視点から琵琶湖について考えていただくパネル展を実施

- 6/3～8月中旬 都道府県会館（東京都）
- 6/22～7/5 近鉄百貨店草津店
- 6/25～6/26 ビバシティ彦根
- 6/28～7/18 ここ滋賀（東京都）
- 6/10～7/31 琵琶湖疏水記念館（京都市）

（6）「びわ湖の日」連続講座等の開催

包括的連携協定締結大学と連携し、持続可能な社会づくりに向けて、一人ひとりができることについて新たな気づきを得ることを目的に「びわ湖の日」連続講座を実施

- 立命館大学 3回（8/2、8/18、9/1）
- 龍谷大学 3回（10月～12月）

琵琶湖の価値や課題の発信、森川里湖のつながりを意識した授業を行い、琵琶湖や滋賀県の自然の保全活動・保全行動につなげる。

- 洛星中学（京都市）※高島市での宿泊合宿時に学習教材を提供
- 東山中学（京都市）10月～12月に授業予定（2回）

（7）情報発信

- ・「びわ湖の日」関連イベントの募集と発信
企業、団体が実施する「びわ湖の日」や「びわ活」に関連するイベント、企画等を募集し、県ホームページ「びわ活ガイド」で発信
- ・滋賀プラスワン7・8月号掲載
- ・びわ湖放送「金曜オモロしが2時間スペシャル」での「びわ湖の日」特集放送（7/1）
- ・「びわ湖の日」横断幕の天津合同庁舎壁面掲示（6/13～8/12）
- ・成安造形大学との連携で作成した「びわ湖の日」ポスター（1,500部）を県内学校、大学、コンビニ、商業施設、JR駅等に掲出依頼

（8）包括的連携協定締結企業による「びわ湖の日」の取組

- ㈱セブン-イレブン・ジャパン
県内39店舗にペットボトル回収機を設置・稼働（7/1～）
- ㈱平和堂
「滋賀めしメニューコンテスト」入賞作品2種（彩り野菜のトマト豚汁・ミートソースの麻婆ナス）の商品化・発売（6/30～7/4）
県産食材を使ったメニュー1種（滋賀県産ナスのオムナポセット）の発売（6/30～7/4）
- ㈱ローソン
滋賀県銘柄鶏を使用した「近江鶏の焼鳥おにぎり」、滋賀県産アドベリーを使用した「ホイップ&カスタードクリームパン」・「もちもちとしたホイップコルネ」、滋賀県産すいかを使用した「すいかの杏仁プリン」の発売（6/28～3週間程度）